

地域医療マネジメント概論

責任者・コーディネーター		臨床薬学講座地域医療薬学分野 高橋 寛 教授 臨床薬学講座地域医療薬学分野 松浦 誠 特任教授	
担当講座・学科(分野)		地域医療薬学分野、医学部緩和医療学科	
対象学年	6	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

国民にとって住み慣れた地域で医療や介護が受けられることは重要なことであり、そのための医療と介護が継続的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要となる。このシステムの中では、地域において医療と介護の専門職が連携をとることが重要となる。在宅医療はその形の一つであり、薬剤師は地域の医療チームの一員として多職種と連携して在宅医療に積極的に関与しなければならない。在宅医療において、医師をはじめ他職種がどのような役割を果たしているかを学び、在宅医療での薬剤師の役割と態度を学修する。

・教育成果（アウトカム）

地域包括ケアシステムにおいて薬局・薬剤師に求められる役割を理解し、国が進める政策や地域での医療提供体制を学び、在宅医療に必要な知識や態度を学ぶ。また、災害時におけるかかりつけ薬剤師の役割を学ぶ。地域医療における他職種の役割を理解し、薬剤師に求められている役割を理解できるようになる。
(ディプロマ・ポリシー:1,4,5,6,9)

・到達目標（SBO）

1. 日本における社会保障制度の問題点を説明できる。(☆) (52,53,111)
2. 医薬分業において社会が求める薬剤師の役割について説明できる。(☆) (1,2,3,8,13,16,107)
3. 地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割を説明できる。(☆) (8,112,113,115)
4. 嚥下機能に合わせた薬剤の選択の重要性を説明できる。(☆)
5. 日本と米国の薬剤師業務の違いについて説明できる。(☆)
6. 在宅医療と入院医療との違いを説明できる。(☆)
7. 在宅医療を支える医師の役割を説明できる。(☆) (45)
8. 在宅医療における薬剤師の役割を説明できる。(☆) (37,45,47,48,49,51,54,71,113)
9. 在宅医療における服薬管理の問題点を列挙できる。(☆)
10. 在宅医療における訪問看護師の役割を説明できる。(☆) (37,45,47,49,54,55)
11. 在宅医療チームへの関わりと訪問看護の実際の業務について説明できる。(☆) (56)
12. 在宅医療における管理栄養士の役割を説明できる。(☆)
13. 薬で起こる栄養障害について説明できる。(☆)
14. 在宅医療における歯科医師の役割を説明できる。(☆)
15. 嚥下機能障害とアセスメントの方法について説明ができる。(☆)
16. 緩和ケアの基本的概念、定義を説明できる。(☆) (34)
17. 緩和ケアを提供する際の薬剤師の役割について説明できる。(☆) (7,45,46,47,49)

18. 人が亡くなった後の寺院や住職の役割を説明できる。(☆)
 19. 人が死を迎える際、人としての関わり方を共感する。(知識・態度) (☆) (5)
 20. 災害医療における薬剤師の役割について説明できる。(☆) (1,2,3,110,1059)
 21. 地域医療におけるかかりつけ薬剤師の役割について説明できる。(☆)
 (1,2,13,50,51,106,108,109)
 22. 認知症患者への関わり方を説明できる。(☆)
 23. 多死社会における在宅医療のあるべき姿、薬剤師の役割について討議する。(知識・態度)
 (☆)
 24. 終末期医療のあり方について自分の意見を述べる。(知識・態度) (☆) (4,5,29)
 25. 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する(116)。
 (知識・態度)

・ 講義日程

(矢) 西 2-A 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/7	火	3	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「導入講義」 地域包括ケアシステムと在宅医療の関係と在宅医療における薬剤師の役割を説明できるようになる。 1. 地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割を説明できる。(☆) 2. 嚥下機能に合わせた薬剤の選択の重要性を説明できる。(☆) 3. 終末期医療のあり方について自分の意見を述べる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
4/7	火	4	地域医療薬学分野	紀平 哲也 非常勤講師	<p>社会から求められる薬剤師について医療における 2025 年問題と社会保障制度の問題点を説明できるようになる。 1. 日本における社会保障制度の問題点を説明できる。(☆) 2. 医薬分業において社会が求める薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>

4/17	金	4	地域医療薬学分野	松浦 誠 特任教授	<p>海外の薬剤師業務（米国の薬剤師と違い） 日本と海外の薬剤師の業務の考え方の違いについて説明できるようになる。</p> <p>1. 日本と米国の薬剤師業務の違いについて説明できる。（☆）</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
4/22	水	4	地域医療薬学分野	岩井 正勝 非常勤講師	<p>在宅医療：医師として 在宅医療とはどんな医療で、入院で受ける医療とどんな違いがあるか説明できるようになる。さらに、在宅医療で医師はどんな役割があるか説明できるようになる。</p> <p>1. 在宅医療と入院医療との違いを説明できる。（☆） 2. 在宅医療を支える医師の役割を説明できる。（☆）</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
4/30	木	4	地域医療薬学分野	長井 貴之 非常勤講師	<p>在宅医療：薬剤師として 在宅医療の現場で実際に薬剤師がどんな役割を担っているか説明できるようになる。服薬管理の難しさや患者さん個々に合わせた服薬支援について説明できるようになる。</p> <p>1. 在宅医療における薬剤師の役割を説明できる。（☆） 2. 在宅医療における服薬管理の問題点を列挙できる。（☆）</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>

5/8	金	4	高度看護研修センター	長澤 昌子 主任教員	<p>在宅医療：看護師として在宅医療における訪問看護師の役割と患者さんとの関わりについて説明できるようにする。</p> <p>1. 在宅医療における訪問看護師の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 在宅医療チームへの関わりと訪問看護の実際の業務について説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
5/21	木	3	地域医療薬学分野	伊藤 美穂子 非常勤講師	<p>在宅医療：管理栄養士として医療における管理栄養士の役割と口から食べることの重要性を説明できるようにする。</p> <p>1. 在宅医療における管理栄養士の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 薬で起こる栄養障害について説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
5/21	木	4	補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔 リハビリテーション学分野	小林 琢也 教授	<p>在宅医療：訪問歯科医として在宅医療における歯科医師の役割と嚥下機能のアセスメントについて説明できるようにする。</p> <p>1. 在宅医療における歯科医師の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 嚥下機能障害とアセスメントの方法について説明ができる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
6/1	月	3	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	緩和医療：緩和ケアについて

					<p>緩和ケアの概念と患者さんに対する心構えや考え方を説明できるようになる。</p> <p>1. 緩和ケアの基本的概念、定義を説明できる。(☆)</p> <p>2. 緩和ケアを提供する際の薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 講義内容の資料を moodle 上に掲載する。</p> <p>事前学習：WHO の提唱する緩和ケアの定義について確認し、説明できるようにしてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
6/1	月	4	地域医療薬学分野	森田 英仁 非常勤講師	<p>死を迎えるということ：住職の立場からお寺の住職の役割と仏教の考え方を学び、法要の意味を説明できるようになる。</p> <p>1. 人が亡くなった後の寺院や住職の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 人が死を迎える際、人としての関わり方を共感する。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
6/11	木	4	地域医療薬学分野	湊谷 寿邦 非常勤講師	<p>災害医療における薬剤師の活動（東日本大震災を通して） 東日本大震災時の薬剤師の活動や役割、かかりつけ薬剤師の役割について説明できるようになる。</p> <p>1. 災害医療における薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>2. 地域医療におけるかかりつけ薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>

6/15	月	3	地域医療薬学分野	<p>高橋 寛 教授 松浦 誠 特任教授 野村 尚司 非常勤講師 佐々木 いずみ 非常勤講師</p>	<p>認知症サポーター研修 認知症患者さんに対して、どのような接し方をするのがよいか説明できるようになる。</p> <p>1. 認知症患者への関わり方を説明できる。(☆) 2. 多死社会における在宅医療のあるべき姿、薬剤師の役割について討議する。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】 事例を通し、薬剤師は在宅医療で何ができるか考えてみよう！ 未来の在宅医療において薬剤師はどんな役割を担うことができるか討議する。</p> <p>【グループワーク】【ICT(moodle)】 事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
6/15	月	4	地域医療薬学分野	<p>高橋 寛 教授 松浦 誠 特任教授 野村 尚司 非常勤講師 佐々木 いずみ 非常勤講師</p>	<p>認知症サポーター研修 認知症患者さんに対して、どのような接し方をするのがよいか説明できるようになる。</p> <p>1. 認知症患者への関わり方を説明できる。(☆) 2. 多死社会における在宅医療のあるべき姿、薬剤師の役割について討議する。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】 【グループワーク】【ICT(moodle)】 ・事例を通し、薬剤師は在宅医療で何ができるか考えてみよう！ 未来の在宅医療において薬剤師はどんな役割を担うことができるか討議する。</p> <p>事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。 事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>

6/16	火	4	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 松浦 誠 特任教授	<p>地域における保健、医療、福祉の連携と薬剤師の役割</p> <p>個別の事例を通して、地域包括ケアシステムにおいて保健、医療、福祉の連携がどのようにあるべきか説明できるようになる。</p> <p>1. 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。</p> <p>【グループワーク】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学習：事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べてきてください。</p> <p>事後学習：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。</p>
------	---	---	----------	----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	死を前にした人にあなたは何かができますか？	小澤竹俊	医学書院	2017
参	悪医（朝日文庫）	久坂部羊	朝日新聞出版	2017
参	看取るあなたへ	細谷亮太（著）、徳永進（著）、長尾和宏（著）	河出書房新社	2017
参	終末期医療を考えるために 検証オランダの安楽死から	盛永審一郎（著）	丸善出版	2016
参	まるごと図解 摂食嚥下ケア	青山寿昭（編）	照林社	2017

・成績評価方法

毎回、レポートの提出を行う（合計 14 回）。レポート(40%)と定期試験(60%)から総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

事前学習・事後学習のポイント

事前学習については、事前に moodle 上に課題を提示しますので、事前課題として A4 の用紙等に 400 文字程度でまとめてきてください。毎回 30 分程度要します。

事後学習については、授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを作成し提出してください。毎回 30 分程度要します。定期試験前には、10 時間程度の総復習の時間を確保する必要があります。

学生参加型講義を実施するために、スマートフォン等を利用して演習やクイズを講義中に行い、授業出欠確認の代わりにします。指示があった場合にはインターネットに接続できるように準備しておいてください。授業のわからなかったこと、要望を書くことができるようフォームを準備しています。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (Apple MacBook Pro)	1	スライド投影のため
講義	パソコン (パナソニック CF-NX3)	1	スライド投影のため
講義	パソコン (Microsoft Surface Laptop Model1769)	1	スライド投影のため